

## 令和3年度 愛知産業大学免許状更新講習 シラバス

認定番号 令 03-30347-503028 号

講習名	立体デザイナー—立体物の制作に至る一連の制作過程を学ぶ—			コード 番号	C 1
日 程	令和3年8月4日（水）	時間数	6時間	定 員	40名
担当講師	木村 光（愛知産業大学 造形学部 教授）				
講習概要	<p>本授業は立体デザインに関する演習形式の授業です。まず、立体物のデザインとは何かを考え、形体に関するデザインの分類や発想法を学び、演習問題を行います。その後に各々が発案する抽象的なスケッチを描き、最終的に立体物の制作を行います。ここではこういった一連の制作過程(プロセス)を重視し、立体デザインに関する理解を深めることが目的です。実技審査では制作したスケッチ、及び立体物を評価します。</p>				
講習計画	午前 (3時間)	<p>1.身近な形体からの発想法演習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 言葉から立体デザインの着眼点を探る。</li> <li>2) 偶然性から形体に関するデザインの分類や発想法を学ぶ。</li> <li>3) 直線と曲線、平面と曲面の分類について。</li> <li>4) 実技審査: チャートによる演習問題、スケッチの評価。</li> <li>5) 午前のまとめ: 暮らしの中での立体デザインを再考する。</li> </ol>			
	午後 (3時間)	<p>2.平面から立体へと展開する演習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抽象的なスケッチの描写法について。</li> <li>2) 制作に使用する素材、用具の説明。</li> <li>3) 実技審査: スケッチ、立体物の評価。</li> <li>4) 午後のまとめ: これからの教育に、立体デザインはどう活用できるか。</li> </ol>			
履修認定 の方法	実技審査				
主な受講 対象者	<p>小学校、中学校、高等学校の教諭 さまざまな教科に必要とされる着眼点、創造性、発想力の観点から教科を特定しない。</p>				
備 考					